

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五日市コミュニティ推進協議会
代表者名 野口 寛

記

事業の名称	防災備品整備事業
事業実施前の状況	自主防災組織を立ち上げたが(石田村)、 防災機材がなく、実質的な訓練が できなかった。
事業実施後の状況	資機材を配備して合同訓練を実施 する。
事業の効果	地域住民の防災に関する意識が 整備の充実、役割分担、組織化等、ハード ソフト両面に高まり、災害時の対応が充実する。
今後の課題等	合同訓練を通じて、地域間格差を 解消したい。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五ヶ丘エコーエイド推進協議会
代表者名 野々貴 (印)

記

事業の名称	緊急通報装置設置事業
事業実施前の状況	集合住宅地区で肉声を通りにくく、緊急の時に状況判断がしにくい。
事業実施後の状況	通報音により、緊急事態の発生、対応が迅速に可能になった。
事業の効果	道路を通行中、犯罪の抑止効果という面から、安全・安心なまちづくりの環境が整う。
今後の課題等	鉄筋コンクリート造り建物が多い地域である。UR撤除機構の建築基準で設置されている事例あり。今後、連携に取り組み必要あり。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月工ユニイ推進協議会
代表者名 野口 貴 (印)

記

事業の名称	ユニイ紙算算行事業
事業実施前の状況	地域住民の活動の周知の 不足が原因。
事業実施後の状況	約900部を印刷配布
事業の効果	住民の周知度が向上した。
今後の課題等	更に、充実が必要。 内容

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五股地域コミュニティ推進協議会

代表者名 野口 貴 印


記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	地域活動等、情報伝達が十分でなかった。
事業実施後の状況	計3箇所配置。
事業の効果	情報伝達効果は除々に現れた。地域団体からの利用希望の相談を受ける。
今後の課題等	今後、も3箇所ぐらい、配置を考慮しながら進める。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域防災推進協議会
代表者名 野々貴 


記

事業の名称	AED 配置事業
事業実施前の状況	身近な場所への配備が求められた。
事業実施後の状況	2箇所へ配備する（五月丘会館、ファミリーマート）
事業の効果	緊急時の対応が可能となる。
今後の課題等	今後は協議会のメンバーも含め AED の講習を受けて、緊急時の対応に備えたい。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五ヶ丘コミュニティ推進協議会
代表者名 野口 実 

記

事業の名称	交通安全看板等設置事業
事業実施前の状況	地域内の道路は坂道が多く、歩行者・自転車等利用者にとって危険な所がある。
事業実施後の状況	特に必要な所に、協議会で安全シール等を貼り付けた。
事業の効果	地域の住民や通行するドライバーの安全意識を高める効果があった。
今後の課題等	安全意識の高揚、注意喚起のため、設置の拡大が必要。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘コミュニティ推進協議会
代表者名 野口 貴 (印)

記

事業の名称	休憩施設設置事業
事業実施前の状況	前年に引き続き実施する。 公園施設内の環境改善を図る。
事業実施後の状況	茶臼山公園、山之平公園に休憩用ベンチを設置した。 施設改善で高齢者、子育て世代の利用が目立つ。
事業の効果	楽しく利用して、風景が多く見られた。 滞在時間が長くなっている。
今後の課題等	保守、点検を強化し、美しく維持し、 益々の利用をPRする。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五白丁エテイト協進協議会
代表者名 野口 貴(印)

記

事業の名称	昆虫学校等講習会実施事業
事業実施前の状況	学校へ引き流す実施あり
事業実施後の状況	講習会を重ぬる多し。新植物への関心が高まる。
事業の効果	好評を得て、2年目の取組みになる。各自が親子連れでの参加も。日曜館への進め方のように、より傾向にある。
今後の課題等	・他校区との連携イベント共催。 ・日曜館の管理体制の確立。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五ヶ所地区二丁目推進協議会
代表者名 野口 貴 (印)

記

事業の名称	五ヶ所地区二丁目、整備事業
事業実施前の状況	道路幅を優先に狭小な、ホッとする空間が欠けていたように思えた。
事業実施後の状況	五ヶ所地区、二丁目 和やかな、小さな空間が実現した。
事業の効果	歩行者を誘引する効果、道をかざることで、五ヶ所地区美化への関心が高まった。
今後の課題等	地域ぐるみで活動継続して子供に発展

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五軒コブニテテ植樹協会の
代表者名 野々貴 (印)

記

事業の名称	緑化事業
事業実施前の状況	現在の桜は老木化しており、危険な状況にもあった。
事業実施後の状況	茶臼山公園内に 住民のこだわり樹種(桜4本)を関係者で植樹した。
事業の効果	住民の思いを、地域の中心地の公園に植樹したことにより、住民の記念樹として育てたい。
今後の課題等	保守、管理をメンバーの手でやる必要あり。地域の各所に設置がけたい。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五目工区ニテ推進協議会
代表者名 野 口 貴 (印)

記

事業の名称	転落防止柵設置事業
事業実施前の状況	傾斜地沿いの河川沿いに柵がなく人が転落する危険性があった。
事業実施後の状況	児童・生徒・住民等の安全を確保するために柵を取付けた。
事業の効果	事故の未然防止につながった。今後、住民の危険意識を、この機会に伝えていきたい。
今後の課題等	危険箇所周知を、 取りたい 。 将来的に柵に伝えている。

22年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五日丘コミュニティ推進協議会
代表者名 岸 本 寛 (印)

記

事業の名称	道路等安全対策事業
事業実施前の状況	急傾斜地の往来に車差の危険があった。
事業実施後の状況	高低差の多い立地特性から、順次取り組んでいる。 地域住民、外来者の安全が確保された。
事業の効果	高齢者、年少者も安全に通行出来、好評を得ている。
今後の課題等	人にも優しいまちづくりを発展展開していきたい。